

プラスチック部品の耐久性試験

概要

プラスチックは使用環境が多岐にわたり、さまざまな要因で酸化、分解などの劣化が起こる。その現象を再現することで製品寿命の設計が可能になる。

(株)三井化学分析センターは様々な劣化現象に対応した、日本でトップクラスの多くの試験機器を備え、お客様の要望に応える体制を備えている。

● 環境による劣化(光、熱、物質など)



促進耐候性試験

(サンシャイン, キセノン, メタルハライド, etc.)
屋外1年相当の曝露を100-1000時間で再現

熱老化試験/恒温恒湿試験

熱、湿度による酸化劣化の加速

冷熱衝撃/ヒートサイクル試験

異種材料の界面/接合面の繰返し温度変化に対する耐久性の試験

耐薬品性試験

各種化学物質(酸、アルカリ、燃料、オイル...)への曝露(膨潤、溶解、変色、強度低下...)

ストレスクラッキング試験

化学物質への接触と機械的ストレスが同時に加わった場合の特異的な劣化の調査

● 機械的ストレスによる劣化

クリープ試験(引張、圧縮、曲げ)

長期間の静的な応力による破壊の評価

疲労試験(引張、圧縮、曲げ)

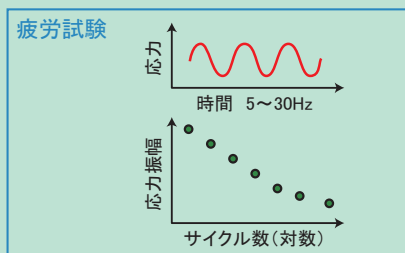
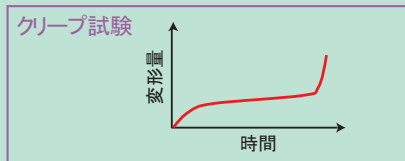
長期間の周期的な応力変化による破壊の評価

摩擦磨耗試験

摩擦に対する耐久性の相対評価

砂磨耗試験

硬質粒子との接触に対する耐久性の相対評価



株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

お問合せ ☎03-5524-3851